

「原子爆弾」

霞小学校 6年 門田 蒼

—原子爆弾—

1945年8月、日本に投下された2つの原爆。その年末までに広島が74万人、長崎で7万人以上が亡くなったといわれています。世界で初めて核兵器が使われたのが1945年8月6日。アメリカが広島に落とす原爆で、3日後の8月9日には長崎にも落とされた。

Q どうして日本に落とされたの？

日本はアメリカと戦争していてアメリカは原爆のおかげで早く戦争を終わらせるために落とすという見方もある。日本が早く降参してれば原爆はさけられたかもしれない。広島は「ラン235」、長崎は「プルトニウム239」という物質でアメリカが2種類の爆弾を試したかったともいわれている。

Q なぜ広島と長崎なの？

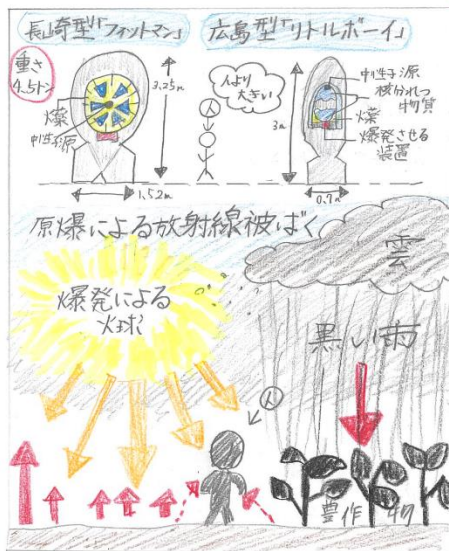
新しい爆弾の威力を試す場所の候補になった。日本軍の兵器をつくる工場があった。アメリカは長崎ではなく、福岡県小倉市に落とす予定だった。でも、第2候補地の長崎に落とすとされているよ。

Q どれだけの人が被害を受けた？

子どもや女性、お年寄りも亡くなった。その後も放射線のせいきょうでたくさんの方が死亡してしまい、原爆によって発症した病気のことを「原爆症」と言っている。

・広島市...1945年8月6日 午前8:15

・長崎市...1945年8月9日 午前11:02



<熱線> 亡くなった病気

・原爆の爆発の瞬間、落下中心付近では約3000℃から4000℃の高温となりました。ちかくにいた人たちはあまりの高熱に一瞬のうちに身体が炭のようになったと考えられています。

<爆風>

・爆発の威力で強力な爆風が発生しました。秒速約300mもの爆風であったといわれており、このすさまじい爆風により、人々は吹き飛ばされ、様々な人々が身体に突き刺さりました。



今学校で勉強している昭和時代。原子爆弾や戦争についてもっと知りたい、調べたいと思いました。分かりやすくまとめるのが、大変でした。

「月の形と太陽」

一月の形と太陽

〈地球、月、太陽の直径と地球からのきょり〉

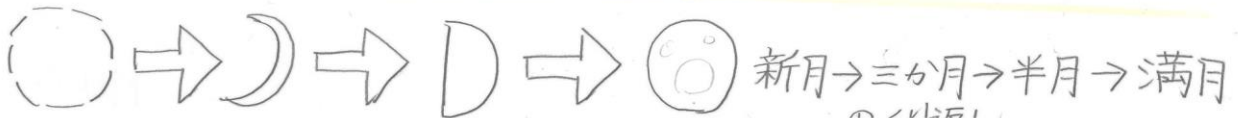
	直径 (km)	地球からのきょり
地球	約13000	—
月	約3500	約380000
太陽	約1400000	約150000000

9月20日 9月24日 9月28日



月は約1か月でもとにもとる。

- 月は自ら光を出しません。太陽の光が当たっている部分が反射して明るく光って見える。月の形が日によって変わって見えるのは太陽と月の位置関係が毎日少しずつ変わっていくため太陽の光が当たって明るく見える部分が少しずつ変わるからです。



● 太陽は自ら光を出している。

● 月の表面は岩や砂などでおおわれていて、クレーターとよばれるくぼみがある。月は自ら光を出しません。太陽の光を反射して光っているように見えます。

● 月も太陽も同じ球形をしています。

● 日ぼつ直後に見える月は明るく光って見える部分が、少しずつふえていきます。

● 月の光って見える側に太陽があります。

私は理科が苦手で、特に月や太陽はとても苦手でした。少しでも成績が伸びるように、教科書のまとめとして書いてみました。頭に入るようにがんばってまとめました。